

2023年11月15日(水) 札幌バプテスト教会 祈禱会

本日の聖書箇所: **ペテロの第一の手紙2:9~10** (口語訳:新約 368 頁)

- 1章13節から2章10節までが一つのくくりだと考えられています。1章13節の「**心の腰に帯を締め**」という表現からうかがえるように、イスラエルの人々がエジプトの奴隷生活から解放された物語が、この部分で一貫して前面に出ています。旧約聖書を代表する物語が、今度は迫害されている教会に重ねられながら手紙が展開されているのです。イスラエルの人々がパロの支配からあがなわれた(買戻された)ように、「**あなたたちはキリストの尊い血によってあがなわれた神さまのこどもたち**」であるとペテロは伝えたのでした(1:19、1:14)。このように語りながら、迫害という苦しみの中にあつた教会に対して、「**信仰にかたく立つように**」とペテロは励ましたのです(5:9)。
- 9節でこうあります「**あなたがたは、選ばれた種族、祭司の国、聖なる国民、神につける民である。**」と。4つのことが語られています。
- ①「**選ばれた種族**」。この表現は、荒野をさまよっていたイスラエル人に告げられた言葉を思い起こさせる意図があります。申命記7章7~8節のところでは「**主が・・・あなたがたを選ばれたのは、あなたがたがどの国民よりも数が多かったからではない。ただ主があなたがたを愛し、またあなたがたの先祖に誓われた誓いを守ろうとして・・・あがない出されたのである。**」。迫害を受け、自らの無力さを知らされていた教会は強烈な「蚊帳の外」感を感じていたことでしょう。その疎外感に寄り添う神さまの姿がここにあります。神さまは、苦しみを強いられた「小さくされた」人々をあえて選び、その愛と注目を注ぐのです。
- ②「**祭司の国**」(英語:royal priesthood 王族にふさわしい祭司団)。信徒たちは日常的に「**悪人呼ばわり**」され(2:12)、「**ののしられ**」(3:16)、「**苦しみと恥**」を受けていました(4:16)。このことを考えると、キリスト者は最も王族から遠ざかった人々でありました。現に、ローマ帝国から迫害を受けていた時代です。時の権力者たちにいじめられた人々が「**あなたたちは王族にふさわしい祭司団**」であると言われたのです。祭司とは神さまと人々を繋ぐ務めを任されていました。つまり、神さまと直接出会うことがゆるされた人々です。周りにはそうは思われなかったのですが、神さまの目には、迫害された人々が王族にふさわしい者であり、そして、キリストのあがないのゆえに、神さまが出会ってくださる人々であったのです。
- ③「**聖なる国民**」。②と④合わせてこの表現は出エジプト記19章5~6節からの引用だと思われています。「**あなたがたはすべての民にまさって、わたしの宝となるであろう。・・・あなたがたはわたしに対して祭司の国となり、また聖なる民となるであろう**」という箇所です。「**聖なる者**」とは「**油注がれた者**」・・・「**他から選別された**」という意味合いを持ちます。何のために他から選別されているかが課題となります。②で触れたように、神さまと人を繋ぐ祭司とされたのですから、神さまを証しすることに招かれていると言えるでしょう。このことについては、最後に触れます。
- ④「**神につける民**」(新改訳:「**神の所有とされた民**」)。この手紙が対象とされていた人々の中に、主人のもとでひどい扱いを受けていた奴隷も含まれていました(2:18)。誰にも大事にされていないと感じていた人々が「**あなたが私(神)の宝ものだ**」と言われたのです。
- 9節前半では、苦しみの内にある信徒たちは、実は神さまに特別に選ばれていることが語られ、9節の後半でその選びの目的が明確にされています。「**それは、あなたがたを、やみの中から、ご自分の驚くべき光の中に招いてくださった方のすばらしいみわざを、あなたがたが宣べ伝えるためなのです。**」と。周りから批難を受けていたキリスト者たちは、その状況から逃れるという選択があつたのでしょうか。あるいは、信仰を妥協するということが可能だったのでしょうか。ペテロご自身が、イエスさまが裁判にかけられている場面で「**イエスなど知らない**」と言い張ったように。この経験が念頭にあつたのかもしれませんが。ペテロが迫害を受けていた人たちに促したのは、逃げることでも、妥協することでもありませんでした。その苦難の中で、キリストのみわざを証しすることでした。苦しみの中であわれんでくださるイエスさま・・・暗闇の中で光となってくださるイエスさまのあたたかさを噛みしめて、それを述べ伝える・・・神さまの民として歩み続けることを促したのでした。私たちも「**驚くべき光の中**」に招かれていることを覚えて、この手紙を最初に読んだ信仰の先輩たちに連なり、「**すばらしいみわざ**」を指し示していきたいと思わされるのです。(西本詩生)

《祈りのリクエスト》

- | | |
|----------------------|--|
| ① 教会の伝道の働き・教会財政のために。 | ⑧ 弁当分かち合いプロジェクト(毎週金曜)。 |
| ② バプテスマ・入会準備中の方々。 | ⑨ 各神学校と神学生のため。 |
| ③ 入院/療養中/高齢で来られない方々。 | ⑩ 道内の教会(無牧師の苦小牧)、
ハワイ・オリベット教会[姉妹教会]のため。 |
| ④ 誕生日・バプテスマを迎えた方々。 | ⑪ 日本と世界の平和のため(パレスチナ、ウクライナ、香港、ミャンマー)。被災地のため。 |
| ⑤ 主日礼拝(説教:西本牧師) | ⑫ 困窮した生活を送っている人たち、孤独や
苦しみの中に置かれている人たちのため。 |
| ⑥ 「聖書を学び合う会」の活動のため。 | |
| ⑦ ひかり幼稚園の働きのため。 | |

《私の祈りのリクエスト》